



発行所 豊田市井上町 12-179
愛知県立猿投農林高校内
菊石同窓会
TEL (0565) 45-0621-0622

同窓会員各位のご発展と
ご多幸をお祈りいたします。
菊石同窓会事務局



あいさつ
菊石同窓会長
吉野 英国

日頃より菊石同窓会の運営につきまして、会員の皆様から多大なご協力とご支援をいただいておりますことに、心からお礼申し上げます。

私達の母校である猿投農林高等学校は一九〇六年（明治三十九年）五月に設立され、百十九年の歴史と伝統があり、卒業生二万二百人を有しております。

本校では本年の百二十年記念事業の開催に向けて学校と同窓会により、開催準備を進めております。是非とも多くの会員皆さんの参加を頂き、百二十年をお祝いしたいと考えております。宜しくお願い致します。

令和七年も菊石同窓会の皆様のご活躍が有られたとお聞きしており、その中でも、浅井奏音氏がローイング競技（ボート競技）において全国大会で優勝をはたされ、また、在校生においても日頃の地道な努力により、「第一回みどり戦略学生チャレンジ全国大会」「全国高等学校総合体育

大会ローイング競技大会」に出場するなど、各方面で成果を上げていけると校長先生よりお話しを頂いており、喜ばしい限りです。また、同窓生で彫刻家の村山哲氏が昨年月下旬に五日間に渡り豊田市文化会館で彫刻展を盛大に開催され、大変多くの観客が訪れました。彫刻展の運営に関しまして同窓生の皆様のご協力を頂き、彫刻展が盛況に開催された事に感謝申し上げます。

令和七年は、アメリカとの関税問題や中国政府と日本政府の関係の悪化など、日本国内の情勢において変化の激しい一年で有りました。また、気候の温暖化等の影響により野生動物の異常行動や昆虫等の異常発生も起きております。昨日まで普通で有ったことが、突如身の回りの環境が急変する事態が今後も発生すると予想されます。同窓会会員の皆さんにおかれましては、その様な事態にも冷静な判断で乗り越え、猿投農林高校で培ったその感覚を生かして益々の発展をご期待致します。

おわりに、会員皆様のご健康を祈念致します。あいさつとさせていただきます。



母校に息づく誇りと歩み
「伝統と未来をつなぐ架け橋として」
猿投農林高等学校校長
天野 淳

猿投農林高等学校同窓会の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動に対し、格別の御理解と御支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本校は創立以来、地域に根ざした農業教育を通じて、実践力と人間力を兼ね備えた有為な人材を数多く輩出してまいりました。皆様は在学中に培われた知識や技術、そして仲間との絆は、卒業後の人生においても確かな支えとなり、それぞれの分野で御活躍されていることと拝察いたします。

母校とは、単なる学びの場にとどまらず、人格形成の基盤を築く場所であり、人生の節目において立ち返ることのできる「心の拠り所」でもあります。若き日に流した汗、共に学び合った日々、自然と向き合いながら得た経験の一つひとつが、皆様の現在を形づくる礎となっていることと存じます。

現在の本校におきましても、皆様は築かれた伝統を受け継ぎながら、時代の要請に応じた教育の充実に努めております。スマート農業や環境保全、食の安全といった現代的課題に対応する探究活動や実習を展開し、生徒たちは日々、真摯に学びに取り組みしております。また、地域との連携を深めることで、実社会に即した教育を実現し、地元産業の発展にも寄与できる人材の育成を目指しております。

このような教育の根底にあるのは、「未来を見据える力」です。アラン・

ケイの言葉に「未来を予測する最良の方法は、それを創ることだ」とありますが、これは未来をただ待つのではなく、自らの手で切り拓いていくという強い意志を示しています。まさに、今の猿投農林高校の教育が目指す姿そのものです。

在校生の近況を御報告いたします。部活動では、ボート部が愛知県高等学校総合体育大会において男子総合2位、女子総合優勝の成績を収め、全国高等学校総合体育大会（広島総体）に出場いたしました。また、愛知県高等学校新人体育大会ではソフトテニス部が出場、陸上部が入賞を果たしました。写真部も愛知県高等学校文化連盟支部写真展にて奨励賞を受賞するなど、文化面でも活躍が見られます。

農業クラブ活動においては、プロジェクト発表のI類からIII類すべてにおいて、愛知県代表として東海ブロック大会に出場し、III類では全国大会（西関東大会）への出場を果たしました。また、農業鑑定競技会にも各学科から生徒が参加し、優秀賞を獲得しております。

さらに、環境デザイン科の生徒は「第二十回全国若年者ものづくり競技会（香川大会）」において敢闘賞を受賞し、「地方創成☆政策アイディアコンテスト二〇二五」では地方創生担当大臣賞を受賞するなど、全国規模の舞台でも輝かしい成果を挙げております。

生活科学科においても、地域企業との連携を通じて、弁当のレシピ提案や食育活動を展開するなど、地域貢献に積極的に取り組んでおります。進路においても、国公立大学への進学や地元企業への就職など、生徒

たちはそれぞれの夢の実現に向けて着実に歩みを進めております。このような教育活動の推進にあたり、同窓会の皆様の存在は、在校生にとつて大きな励みとなっており、す。社会の第一線で活躍される先輩方の姿は、後輩たちにとつて将来の目標であり、希望の象徴でもあります。ある生徒が「自分も先輩のようになり、地域に貢献できる人になりたい」と語ってくれたことがありました。その言葉に、母校の精神が確かに受け継がれていることを感じたのを覚えております。

結びに、菊石同窓会の皆様の御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、猿投農林高等学校が今後とも地域とともに歩み続け、次代を担う若者たちの成長を支える場であり続けられるよう、教職員一同、引き続き尽力してまいり所存です。今後とも変わらぬ御支援と御厚情を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

卒業生大活躍①

『農業への飽くなき挑戦』

大岡 隼士 さん

(平成三十年度農業科卒業)

私は猿投農林高校農業科を卒業後、豊田南インター周辺の高岡地区にある、農業生産法人株式会社「中甲」に就職しました。栽培面積は約五百ヘクタールほどで、主に米・麦・大豆・飼料用トウモロコシ・キャベツを栽培しています。

この仕事を選んだきっかけは、いくつか理由があります。一つ目は祖父が兼業農家で一ヘクタールほど水稲を栽培しており、その手伝いをしていたことから、幼少期より農業に

興味をもっていました。二つ目は高校の授業として三年間農業実習を行うなかで、農機具の整備や修理を将来の仕事にしてみたいと強く思うようになったことです。三つ目は、高校在学中に参加した農業機械宿泊実習で、大型のトラクタや施工機械を操作する体験を通じて、大型の機械に乗って圃場管理をしてみたいと考えたようになったからです。そこで将来の選択肢として、その思いを叶えることのできるような今の仕事を選びました。十二月現在、入社してから六年と八か月が経過しました。「中甲」では、作物ごとに担当が割り当てられます。私は入社二年目から担当を割り当てて頂きましたが、現在まで、稲担当一年間、大豆担当四年間の栽培を任せてもらっています。

初めて担当を持てたのが大豆でしたが、これまで大豆を栽培した経験がなく、また、知識も無かったことから、とても苦労をした一年でした。

現在も大豆担当ですが、この四年間の経験をもとに必要な知識もついてきて、新しい栽培方法や新しい資材を使用してみるなど、日々チャレンジをしています。担当をもってから四年目の時に一年間ではありましたが、稲栽培も経験しました。この時には、一つ下の後輩と共に仕事をしていました。実家で稲を作っているとはいえ、作業する規模や方法が全く異なることから、苦労の連続でした。自分のことだけでも精一杯なのに、後輩に指導しながら作業の段取りをするなど、頭がパンクしそうな時もありました。しかし、その経験のおかげで余裕をもって作業の段取りをしたり、指導の仕方を自分なりに確立したりと、かなりやりがいを感じられる様になりました。

もちろん失敗も多くしてきました

が、失敗を恐れては何も身に付きません。チャレンジをして失敗をして、その理由を考えていくなかから改善をしていくこと、それが今後仕事をしていく上で、大切だと思います。学生の時にこそ、たくさんチャレンジをして、失敗をして、たくさん経験を重ねてほしいと思います。

ここ3年間、御校の加島先生からお話があり、縁あって農業機械の授業での外部講師として御校に携わっています。御校にある農業機械を使い、トラクタの説明や作業機の脱着の実演、農業機械の有難さやその反対の危険なところなどを、私の経験を元にお話しをさせて頂いています。

生徒の皆さんには、農業機械の面白さや有難さ、そして何より安全に對する思いが伝わってもらえればと思っています。

卒業生大活躍②

『交通事故ゼロを目指して』

山田 捺希 さん

(平成二十九年度農業科卒業)

私は高校在学中、農業科の畜産研修班に所属しており、日々、牛や豚、鶏などの動物管理実習を通じて、生き物を育てることの大切さを学んできました。

そして、私は現在、豊田市の東部にある、豊田市交通安全学習センターで働いています。学習センターでは、「楽しみながら交通安全を学ぶ」をテーマに、ミニSLやゴーカート、自転車の貸し出しなどを行っている施設です。入場料が無料ということもあり、土日にはたくさんの子どもたちが来てくれます。踏切が好きで、遮断機の開閉の真似をする子、標識を

じーっと見つめる子、「また来るね」と笑顔で手を振ってくれる子など、子どもたちの姿に日々癒され、元気をもらっています。こうした一般業務に加えて、学習センターでは交通安全の講習も行っています。豊田市の全園・全小学校(一・四年生)・高齢者クラブを対象に、各年代に合わせた交通安全教育を実施しています。さらに、中学校や高校を対象に出張講習も行っており、母校である猿投農林高校からも依頼がきたことにもあつて、私が講師として何うことになりました。まさか、講師として母校に戻る日が来るとは思っていませんが、在学中にお世話になった先生方にお会いすることができ、とても嬉しかったことを覚えております。

講習では「自転車の安全利用」について講義を行いました。時々聞きながら、真剣な表情で話を聞いてくれる姿を見て、自転車のルール遵守について理解を深めてもらえたと感じています。私自身、学習センターで働くまでは、交通安全について深く意識したことはありませんでした。しかし、日々の講習を通して安全の大切さを伝える立場になったことで、交通安全は、子どもから大人まで誰にとっても身近で欠かせないテーマであると強く感じるようになりました。普段の生活の中で何気なく守っているルールも、改めて意識することで、交通事故防止につながるのだと実感しています。これからは「交通事故ゼロ」を目標に、学習センターでの活動や講習を通して交通安全の大切さを一人でも多くの方に伝えていきたいと思っています。また、みんなが安心して暮らせる街づくりに少しでも役立てるよう、日々の業務を一生懸命頑張りたいと思います。

令和七年 菊石同窓会決算書

収入合計 1,234,276 円
支出合計 926,339 円
差引残高 307,937 円

収入の部 (単位: 円)				
科 目	予算額	収入済額	比較増減額	摘 要
繰越金	328,955	328,955	-	
入会金	905,000	905,000	-	185 人×五千元
雑収入	45	321	-276	預金利息
合 計	1,234,000	1,234,276	-276	

支出の部 (単位: 円)				
科 目	予算額	支出済額	比較残額	摘 要
総 会 費	30,000	1,001	28,999	総会関係費
会 議 費	20,000	1,001	18,999	役員支部長会費
記 念 品 費	120,000	104,302	15,698	新入会歓迎費
事 業 費	50,000	40,150	9,850	会報, ハガキ印刷
慶 弔 費	50,000	-	50,000	香典、お祝い等
雑 費	120,000	28,900	91,100	通信費
名簿運営費	-	-	-	サラト契約費
積 立 金	500,000	400,000	100,000	
学校支援費	300,000	350,985	-50,985	懸垂幕
予 備 費	44,000	-	44,000	
合 計	1,234,000	926,339	307,661	

令和七年 菊石同窓会積立金会計決算書

収入合計 5,524,901 円
支出合計 -
差引残高 5,524,901 円

収入の部 (単位: 円)					
科 目	予算額	収入済額	支出済額	差し引き残額	摘要
繰越金	5,122,637	5,122,637	-	-	
積立金	500,000	400,000	-	-100,000	
雑収入	363	2,264	-	-1,901	利息等
合 計	5,623,000	5,524,901	-	-98,099	

支出の部 (単位: 円)				
科 目	予算額	支出済額	比較増減額	摘 要
学校支援費	-	-	-	学校支援費

令和7年菊石同窓会会計における帳簿および関係書類および関係証票等を監査した結果、その内容は適正に処理してあったことを認めます。

令和7年 12月13日

令和八年 菊石同窓会予算書

収入合計 1,203,000 円
支出合計 1,203,000 円
差引残高 0 円

収入の部 (単位: 円)				
科 目	本年予算額	前年予算額	比較増減額	摘 要
繰越金	307,937	328,955	-21,018	
入会金	895,000	905,000	-10,000	179 名×五千元
雑収入	63	45	18	預金利息
合 計	1,203,000	1,234,000	-31,000	

支出の部 (単位: 円)				
科 目	本年予算額	前年予算額	比較増減額	摘 要
総 会 費	30,000	30,000	-	総会関係費
会 議 費	20,000	20,000	-	役員支部長会費
記 念 品 費	120,000	120,000	-	新入会歓迎費
事 業 費	50,000	50,000	-	会報, ハガキ印刷
慶 弔 費	50,000	50,000	-	香典、お祝い等
雑 費	120,000	120,000	-	通信費
名簿運営費	-	-	-	サラト契約費
積 立 金	450,000	500,000	-50,000	
学校支援費	319,000	300,000	19,000	懸垂幕
予 備 費	44,000	44,000	-	
合 計	1,203,000	1,234,000	-31,000	

令和八年 菊石同窓会積立金会計予算書

収入合計 5,975,000 円
支出合計 4,000,000 円
差引残高 1,975,000 円

収入の部 (単位: 円)				
科 目	本年予算額	前年予算額	比較増減額	摘 要
繰越金	5,524,901	5,122,637	402,264	
積立金	450,000	500,000	-50,000	
雑収入	99	363	-264	
合 計	5,975,000	5,623,000	352,000	

支出の部 (単位: 円)				
科 目	本年予算額	前年予算額	比較増減額	摘 要
学校支援費	-	-	-	
120周年費	4,000,000	-	4,000,000	
予備費	-	-	-	
合 計	4,000,000	-	4,000,000	

監 査 黒 野 宗 弘 (印)
樋 口 康 広 (印)
会 計 小 木 曾 智 哉 (印)
大 嶋 猛 (印)

本年度の定期人事異動の結果は次のとおりです

転出

長谷川美紀(教諭)

鈴木 数則(教諭)

後東 玲子(教諭)

小角 晃司(教諭)

伊藤 弘和(任期付任用講師)

永吉 亜紗(任期付任用講師)

堂所 旦(臨時的任用講師)

細川 陽日(実習教員)

転入

天野 淳(校長)

山本 知美(事務長)

樹神 恵美(再任用教諭)

満岡 孝至(再任用教諭)

和田 稔(再任用教諭)

林 一哉(再任用教諭)

荒川 達雄(再任用教諭)

古澤 亜弓(教諭)

高橋 正樹(教諭)

鎌倉 妃由(任期付任用講師)

富田 良美(臨時的任用教師)

吉崎 新太(臨時的任用講師)

尾藤 高志(実習教員)

岸本 悠哉(事務・主事)

畑 清香(事務・主事)

退職

壁谷 光(校長)

鬼塚 慎一(事務長)

令和七年度 諸活動の実績

農業クラブ活動

◇県大会

・家畜審査競技会 肉牛の部

・平板測量競技会

・農業鑑定競技会

・農業情報処理競技会

・東海ブロック大会

・プロジェクト発表会

◇全国大会

・農業鑑定競技会

分 野 野菜

分 野 生活

分 野 III類

分 野 II類

分 野 I類

分 野 生活

◇高等学校総合体育大会

ボート部

バドミントン部

団体・男子個人

卓球部

女子個人(2名)

弓道部

男子個人

◇国民体育大会

卓球部

女子個人(3名)

◇新人体育大会

陸上部

男子・女子個人

テニス部 男子個人 県大会出場
男子個人(2名) 県大会出場

菊石同窓会総会のご案内

令和七年 事業報告

1月25日 菊石同窓会総会

3月3日 菊石同窓会入会式

12月13日 役員会

令和八年 事業計画

1月24日 菊石同窓会総会

3月2日 菊石同窓会入会式

6月 役員会

10月30日 120周年記念事業

12月 役員会

事務局よりお知らせ

事務局ではHP(ホームページ)に会報を掲載することで最新の同窓会事業についてお知らせしています。また、同窓会名簿を令和六年一月に発行いたしました。(株式会社サラトに業務委託)

偽の名簿発行や名簿利用による悪質な商法、振り込み詐欺などにご注意ください。

ご不明な点がございましたら、事務局へお気軽に問い合わせください。

同窓会事務局

☎〇五六五・四五一〇六二一

菊石同窓会総会

菊石同窓会総会は毎年1月の第4土曜日に開催されます。猿投農林高校HPにて、総会の案内と会報を掲載していますのでご覧ください。

ホームページ <http://sanagenorin-h/aichi-c.ed.jp/>

記

令和7年総会

1 期日 令和8年1月24日(土)
2 会場 母校 図書室
3 日程 受付 9:30~10:00
総会 10:00~11:00



※感染症などの感染拡大の状況により、予定を変更する場合がありますので、ご理解願います。

令和七年 総会次第

議題

- (1) 令和七年事業報告について
- (2) 会計報告について
- (3) 会計監査報告について
- (4) 令和八年役員人事について
- (5) 事業計画案について
- (6) 予算案について
- (7) その他